

2015年2月16日
株式会社日立製作所
日立エレベーター・アジア社
日立リフト・インディア社

インドの高級住宅向けに高速エレベーターを含む 58 台を大口受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)と、日立の東南アジア・インド・中東地域における昇降機事業の統括会社 Hitachi Elevator Asia Pte. Ltd.(社長:Rolland Chua/以下、日立エレベーター・アジア社)およびインドの昇降機事業の販売・サービスを担う Hitachi Lift India Pvt. Ltd.(社長:海野 貴之/以下、日立リフト・インディア社)は、インド・ムンバイで建設が進められている高級住宅プロジェクト Crescent Bay 向けに、分速 240m の高速エレベーター46 台を含む 58 台のエレベーターを一括受注しました。今回の受注は、インドにおける日立の高速エレベーターの受注としては、過去最大級の大口案件です。

インド西海岸の主要都市ムンバイにおいて 2018 年に竣工予定の Crescent Bay は、6 棟(地上 48 階~62 階)から成る高級住宅で、既に多くのデザイン関係の表彰を受賞するなど、インド国内で最もデザイン性の高い住宅のひとつとして注目されている案件です。また住居スペースのほか、空中庭園、プール、ジョギングコース、屋内遊技場、スパなど世界トップクラスの設備を有しています。

今回、日立が受注したエレベーターは、分速 240m の高速エレベーター46 台を含む 58 台です。これらのエレベーターには、利用者がより高い満足度を得ることができる機能として、地震による初期微動、主要動を検知し最寄階に迅速に乗りかごを避難させる地震時管制運転装置や、エレベーターの運転状況に応じて発生する回生電力を活用して消費電力を低減する回生システム、学習した運行パターンを元に利用者の動きを予測して複数台のエレベーターを効率よく配車する将来予測知能群管理システム、また、乗り場ボタンを押すと最適なエレベーターが予約され、該当号機のランタンが点灯する即時予約システムなどが採用されています。

日立は、2008 年 1 月に日立リフト・インディア社を設立し、インドにおける昇降機事業を開始しました。中国やシンガポール、タイに位置する日立の昇降機製造拠点などと連携しながら、これまで高級住宅、ホテル、オフィス向けに高速エレベーターを含む多くの案件を受注しています。最近では、ニューデリー、ムンバイ、バンガロール、チェンナイ、プネなど主要都市すべてで事業を展開しており、今後他の都市へも拡大する計画です。

日立は、社会イノベーション事業のグローバル展開を強化しており、引き続き都市の縦移動インフラである昇降機事業の拡大を図っていきます。そして急速に拡大するインドの昇降機市場に向けて、より安全で快適な高品質の製品を提供していきます。

■受注したエレベーターの概要

用途	乗用		人荷用
定格速度	240m/分	90m/分	240m/分
積載質量	1,150kg	630kg	1,600kg
台数	35台	12台	11台

■Crescent Bay の概要

- ・用途: 住宅
- ・施主: L&T Parel LLP
- ・所在地: Bhoieada Parel, Mumbai, India
- ・階数: Tower1:地上 48 階、Tower2:地上 50 階、Tower3:地上 54 階、Tower4:地上 56 階、Tower5:地上 61 階、Tower6:地上 62 階



Crescent Bay の外観(イメージ)

■本件に関するお問合せ先

株式会社日立製作所 都市開発システム社 カスタマー・サポートセンター

TEL:0120-508-104 (フリーダイヤル)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
